



お正月

あそび

■イベント料金

中学生以下・65歳以上無料

一般大人 **600円**

展示室・アストロビジョン入場券
ほかイベント各種参加券が含まれます。

平成27年

1月11日(日)

10:00~15:30



〜お友達といっしょに〜

★うれしい「おとし玉」

いろんな景品つめほうだい♪

●1回目 13:30~ ●2回目 14:30~

★お正月ならではの

“かるた・羽根つき・福笑い”

で自由にあそべる



★他にもUFOキャッチャーや

カタヌキもあるよ♪

レッツ・サイエンス!!

★スノードームづくり

10:30~11:00 (参加費 ¥300)

★水がこぼる瞬間を見よう

11:00~11:20

★恐怖!?ドライアイス爆弾

1回目 11:30~12:00

2回目 14:00~14:30

冬のギザ祭り

きてくれなせや
んぐまふ〜
ぐまぐま

【お問合せ】
流水科学センターギザ
電話(0158)23-5400

★ミニ経路★

“コルク銃VS空気砲” ◎射的コーナー

的当て選手権「スライッサー アウト」

...などなど お楽しみコーナー満載!

★外であそぼう★

巨大すべり台&イグルーあわわる...!?

平成27年 1月25日(日)

~3月1日(日)

★見た目で当てよう!★

「流水重さ当てクイズ」

応募期間 1/25 ~ 3/1

計測・表彰 3月1日 13:30~

第24回オホーツクの四季写真コンテスト 作品募集のお知らせ

「第24回オホーツクの四季写真コンテスト」、JAオホーツクはまなす青年部主催「絵・ポスターコンテスト」の作品を募集しています。応募期間は平成27年1月31日必着となっております。(応募先はそれぞれ異なります。)

オホーツクの四季写真展は平成27年3月21日~4月19日、JAオホーツクはまなす青年部主催「絵・ポスターコンテスト」作品展は平成27年2月4日~15日の期間で開催いたします。応募方法など詳しくは、ポスター、チラシ、流水科学センターのホームページをご覧ください。

たくさんのご応募をお待ちしております。

巡回パネル展を開催します

平成26年12月3日、「はやぶさ2」が無事に打ち上げられ52億kmと試算される宇宙への大航海へと旅立ちました。6年をかけて約3億km離れた小惑星からサンプルを持ち帰る旅です。

宇宙への関心が高まるなか、当センターでは平成27年1月25日~2月25日の1か月間、巡回パネル展「地球から宇宙へ」(協力:全国科学館連携協議会)を開催します。最新鋭の望遠鏡がとらえた天体写真や天文学者による作品などJAXAが製作した45枚のパネルを展示します。また、余市宇宙記念館様・北海道宇宙技術創成センター様の協力により「はやぶさ」などの模型も展示し、多くの方に宇宙の魅力に触れて頂こうと思います。巡回展は入場無料ですので是非ご来場ください。

北方圏国際シンポジウムのお知らせ

平成27年2月15日から「第30回北方圏国際シンポジウム」を開催します。学術発表だけではなく市民向けの講座もあり、初日の記念講演ではあの「さかなクン」が登場! 楽しいお話が聞けそうです。

2月16日には流水科学センターにて毎年恒例の第23回ホワイトコンサートがあります。



Yaeさん

今年ゲストにYaeさんを迎え「癒しの歌声 Yaeを聴くタベ」と題し開催します。Yaeさんは加藤登紀子さんの次女で歌手、シンガーソングライターとしてご活躍されています。詳しくはホワイトコンサート実行委員会、流水科学センター(Tel 0158-23-5400)までお問い合わせください。

また19日には、当センターの担当している社会教育施設と学校との連携についての「教育シンポジウム」を開催し、各施設による連携の事例発表やパネルディスカッションなどを行います。場所は紋別市文化会館で聴講は無料です。詳しくは北方圏国際シンポジウム実行委員会(Tel 0158-26-2810)までお問い合わせください。

ロボット教室

終了しました。



はじめロボット研究所の坂本 元氏によるロボット実演、北見工業大学 生体メカトロニクス研究室によるロボット作り体験が終了しました。実演では小型の2足歩行ロボットのデモンストレーションが行われました。このロボットはただ歩くだけでなく、起き上がることができ、しかも回転キックまで! さらに登場したロボットは自らボールを見つけて、1本足でバランスをとりシュート! 驚くべき性能でした。圧巻は高さ2.1mの巨大ロボ。こちらも2足歩行のみならずボールを蹴ることができ、大迫力の実演会となりました。

北見工業大学様のロボット作り体験では受動歩行2足ロボットを製作。受動歩行ロボットとは動力やセンサーなどを使わずに重力のみで坂道を歩くものです。特別な材料を使わずにシンプルな仕組みで坂道を下っていましたが、そこには最先端の技術が感じられました。参加した子どもたちも上手く作ることが出来て大満足の様子でした。

はじめロボット研究所の坂本様、北見工業大学、鈴木先生、星野先生、学生の皆様、ご協力頂き本当にありがとうございました。

行事予定

<12月>

■コムケ写真展

期間:12月28日(日)まで開催中

■もの作り講座

期間:13日午後1時半～

※幼稚園・保育所・児童館の先生が対象となります。

※電話予約受付が必要です。

<2015年1月>

■ギザお正月遊び

期間:11日(日)10時～午後3時半

■巡回パネル展「地球から宇宙へ」

期間:25日(日)～2月25日(水)

■冬のギザ祭り

流水重さ当てクイズ

期間:25日(日)～3月1日(日)

■ギザ映画会

(詳細は後日ホームページにてご案内いたします。)

<2月>

■冬のギザ祭り

流水重さ当てクイズ

期間:～3月1日(日)まで

■JAオホーツクはまなす青年部主催

絵・ポスターコンテスト作品展

期間:4日(水)～15日(日)

■第23回ホワイトコンサート

「癒しの歌声 Yaeを聴く夕べ」

期間:16日(月)午後6時開場・6時半開演

■巡回パネル展「地球から宇宙へ」

期間:25日(日)～2月25日(水)

■もの作り講座

期間:28日(土)午後1時半～

※幼稚園・保育所・児童館の先生が対象となります。

※電話予約受付が必要です。

<3月>

■冬のギザ祭り

流水重さ当てクイズ

期間:1日(日)(流水重さ当てクイズは計測会前)まで

■流水重さ当てクイズ計測会

期間:1日(日)午後1時半～

■第24回オホーツクの四季写真展

期間:21日(土)～4月19日(日)

表彰式:22日(日)

■春休みイベント

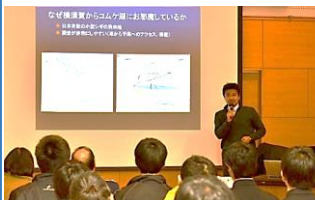
(詳細は後日ホームページにてご案内いたします。)

※その他最新情報・詳細についてはホームページ・facebookページにて随時更新していきます。

コムケ写真展と第50回オホーツク流水科学講座

ボランティアガイドによる「コムケ写真展」が12月28日(日)まで開催中です。写真展のオープニングに合わせ、第50回オホーツク流水科学講座を行いました。今回は(独)港湾空港技術研究所の桑江 朝比呂 氏を講師に迎え「コムケ湖の不思議:鳥とその環境」と題してご講演いただきました。内容はコムケ湖の環境や渡り鳥の採食に関する事で驚きの連続でした。小型のシギ類が食べていたのはなんとバイオフィルム。バイオフィルムとは珪藻や藍藻などの微生物が作り出す泥表面の薄い層のことです。バイオフィルムと食べることのメリットなどについても分かりやすく解説していただきました。お話を聞いて改めてコムケ湖の豊かさを感じ、鳥類が生きていく不思議なメカニズムに驚き、干潟、湿原の重要性を考えさせられました。桑江様貴重なお話をありがとうございました。今後コムケ湖で調査されるとのこと、素晴らしい結果が出ますようお願いいたします。

～流水の街から～ コムケ湖について



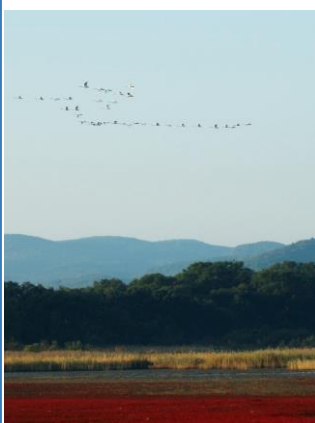
シギ飛来について解説する桑江様



アイヌ語で曲がり沼が語源のコムケ湖



アッケシソウ



飛来してきたタンチョウの群れ



エゾカワラナデシコを中心とした群落

今回の流水科学講座の演題となった、コムケ湖について紹介します。

日本の湿原の80%が北海道にあり、そのまた80%が北海道東部に分布しています。オホーツク海沿岸はかつて海であった場所が発達した砂州などで外海から分離した海跡湖が多く、日本の3割が集中しています。

コムケ湖は紋別市内から湧別方面へ車で30分位の場所であり、やはり外海と砂州で区切られた海跡湖で、砂州には道があり湖と海を両方見ながら海岸線を移動することができます。コムケ湖の語源は「コムケ・トー」アイヌ語で曲がり沼を意味し、その名のとおりに湖は3つの水域が水路で繋がって曲がった形をしています。面積約5km²、湖岸延長約22kmの湖内には干潟ができ、周囲はヨシ原の湿原を形成しています。湖の南側にはキャンプ場があり、昭和52年に整備された導流堤の湖口にはサケ・マス漁師のための宿泊兼作業場として昭和16年建築の「三室番屋」を見ることができます。

このような環境のコムケ湖は生きものにとって重要なものとなっており、季節によって様々な鳥類、花などが観察できます。コムケ湖で記録された鳥類は270種を超え、その80%以上が季節により移動する渡り鳥です。この数字から鳥たちにとってコムケ湖はなくてはならない休憩場所や食事の場所だと言えます。夏にはコヨシキリ、ノゴマ、ベニマシコ、ノビタキなどの夏鳥の歌声を聴くことができ、春・秋にはシギ類がせわしく干潟を突く姿を見ることができます。これからの季節は翼を広げると2.4mにもなるオオワシが見られます。過去には動物園から逃げ出したフラミンゴが舞い降り、今年もタンチョウがやってきました。

湿原やその周辺では春になるとエゾイチゲ、ミズバショウ、ハマハタザオなどが咲き、ハマハタザオの種は冬鳥たちの重要な食糧となります。初夏にはエゾカンゾウ、スズラン、ハマエンドウ、センダイハギ、ヒオウギアヤメなどが見られ、さらに季節が進むとエゾカワラナデシコ、エゾスカシユリ、ノハナショウブ、ハマボウフウなどが見られるようになります。エゾカワラナデシコはコムケ湖の隣に位置するシブノツナイ湖の海浜草原に行くと大きな群落となっています。秋になるとハマナスの実が赤くなり、ウンラン、アキノキリンソウなどを見ることが出来ますが、なんとと言ってもこの時期は塩湿地特有のアッケシソウ(サンゴ草)が素晴らしいです。まさに赤い絨毯と言えるでしょう。

このようにコムケ湖は生きものにとって大変重要な場所であるだけでなく、私たちが鳥、花、風景など様々な顔で楽しませてくれます。冬はスノーシューを履いて流水を見ながらの散歩も格別です。

素晴らしいコムケ湖ですが外来種問題ばかりでなく、近年は波浪によって海岸が後退しているのが気になります。また、ゴミの投棄も後を絶ちません。この貴重な場所をいつまでも大切に護っていき、楽しむことが出来ればと思います。皆様も是非コムケ湖にお越しいただき、自然を感じてください。海岸道路を自動車でも移動する際は路肩の植生への乗り上げにご注意ください。(学芸員 桑原)

参考図書:辻井 達一 岡田 操 高田 雅之(2007)「北海道の自然」北海道新聞社 大館 和広(2009)「コムケガイドブック」三室番屋復活プロジェクト

GIZAだより Vol.105 発行:北海道立オホーツク流水科学センター

〒094-0023 北海道紋別市元紋別11-6 TEL (0158)23-5400 FAX (0158)23-9844

[ホームページ] <http://www.giza-ryuhyo.com> [メール] info@giza-ryuhyo.com <http://www.facebook.com/giza.ryuhyo/>

[開館時間] 9:00～17:00 [休館日]12月:1,8,15,24,29,30,31日・1月:1, 2, 3日・2月、3月は休館日なしで営業いたします。